

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER **2** Vol.8



2月は
平和と紛争予防
紛争解決月間です。



ロータリー：
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリー会長
イアン・H.S.ライズリー

RI第2650地区スローガン

愛着と誇り

国際ロータリー第2650地区
2017-18年度ガバナー

田中 誠二

Contents

ガバナーズレター	P2
愛着と誇り：私のロータリー物語	P3
クラブ事業報告	P4
クラブ事業報告／ 歴代RI会長語録／ロータリー豆知識	P6
会員数の増減及び出席率表	P7
会員の動き	P8



平和の「概念」を「現実」に!

国際ロータリー第2650地区
2017-18年度ガバナー

田中 誠二

早くも2月に入りました。大寒が過ぎ立春を迎えるとはいえ、まだまだ余寒が厳しい毎日ですが、各クラブの会長、幹事、そして、会員諸兄弟におかれましては、ますますご健勝にて充実したロータリーの奉仕活動にまい進されていることと存じます。

今年も1月14日(日)から一週間、米国サンディエゴで恒例の国際協議会が開催され2018-19年度バリー・ラシン会長のテーマ“Be the Inspiration”「インスピレーションになろう」が発表され、いよいよ新年度に向けての準備が本格始動しました。

さて、2月23日は、創始者・ポール・ハリスが友人3人とともに最初のロータリークラブの会合を開いた特別な記念日であり、今年でロータリーは創立113年を迎えます。国際ロータリーでは、ロータリーの最初の例会が開催されたこの日を創立記念日としてお祝いをするとともに、「世界理解と平和の日」と定め、各クラブでは国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認識し、強調することが求められています。また、2月23日から始まる3月1日までの1週間を「世界理解と平和週間」とし、この期間中は世界理解と平和に関するロータリーの奉仕活動を促進することを国際ロータリーの理事会で決議しています。

ご高承のとおりロータリーは、1905年に「一業種一会員」を基本として、相互扶助と親睦を主たる目的として誕生しました。その後、長い歴史の変遷を経て、世界の地域の課題を解決するために200以上の国と地域に活躍するロータリアンが一致団結して、奉仕プロジェクトを計画し、人々の人生に、地域に、国家に、そして世界にプラスの変化をもたらす世界組織として発展してきました。ロータリーの創生期から現在に至るまで、人々のライフスタイル、テクノロジー、医療、そして、産業構造を含めて、社会は大きく変化しました。しかしながら、いつの時代もロータリアンは、次代に向けて進化することを躊躇せず、ロータリーの奉仕の精神と哲学を継続して深耕し、これらの実践に常に清新な息吹を吹き込みながら今日までロータリーを成長、発展させてきたと確信します。入会の動機は人によってそれぞれ違いますが、我々が会員であり続けるのは、ロータリアンであることに愛着と誇りを持ちその価値を見出し、ロータリーの奉仕活動が世界にプラスの変化をもたらすと我々が信じているからに他なりません。

今、世界では、紛争と暴力によって毎年、数百万人が家を失い故郷を追われています。紛争で命を落とす人の90%が罪なき一般市民であり、その半分が子どもたちです。このような看過でき

ない状況を受けてロータリーでは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材育成を通じて、平和な地域、世界づくりを促進しています。

今年度国際ロータリーは、2017年の「世界を変える行動人：平和の推進者」(People of Action: Champion of Peace)として、平和構築と紛争解決に貢献し世界に多大な影響力を発揮し、より平和な社会づくりのための道標を示した6名の傑出した人材を選び発表しました。今回は、貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如といった紛争の温床となる問題に取り組む事業に従事したロータリアンとロータリー平和センター学友が選ばれ、昨年11月にスイスで開催された「国連でのロータリーデー」において表彰されました。

これまでの13年間、「国連でのロータリーデー」の行事は、ニューヨークで開催されてきましたが、今回は第1次世界大戦終結99周年を記念して、ジュネーブの国連事務局で実施されました。この日は、87か国の代表者はじめ1,200人もの参加者が元国際連盟のパレ・デ・ナシオンに集結する中、イアン・ライズリー RI 会長は、「国際理解、親善、そして平和は、兼ねてからのロータリーの第一目標であり、ロータリーの奉仕活動はすべて平和構築につながっている。」と訴えました。さらに国連に対するロータリー代表のエド・フタ氏は、「平和は概念として説くものではなく、実現すべきものであり、奉仕を通じて平和を概念から現実にできるのがロータリー」と力強く述べました。

平和の実現に向けて我々ロータリアンが具体的に取り組めることは、平和と紛争解決のための専門人材育成への支援、ロータリー平和フェロー候補者の発掘、紛争の原因解消に向けた奉仕プロジェクトの策定、そして、国際理解と平和を推進するため海外ロータリークラブと協働した奉仕活動の合同実施です。Web上で世界のロータリアンをつなぐ「My Rotary」が普及し、各クラブの状況が統計的に分析することが可能になった今、クラブが位置する地域社会、或いは世界の地域の問題や現状を正確に把握しているクラブは、より一層効果的に社会や世界に奉仕することができると分かってきました。

今、世界各地でテロや紛争が勃発しています。一刻も早い終息を願うばかりですが、各クラブにおかれましては、今一度、自分たちが目指す奉仕とはどのようなものか未来像を議論いただき、財団のグローバル補助金を活用した平和と紛争予防／紛争解決をはじめとする奉仕の重点化に向けて、是非、積極的なご検討を戴ければ幸いに存じます。

愛着と誇り：私のロータリー物語

竹林村に慈愛の種を



2017-18年度 ガバナー補佐
(京都南部第1グループ)

福井 純史 (京都八幡RC)

今から15年前、私たちのクラブが創立25周年記念として取組んだ中国での小学校の校舎改修等の教育支援プログラムは、当時幹事の私にとって愛着と誇りのあるものとして印象深く残っています。

中国陝西省宝鶏市と八幡市は友好都市として交流を続けていましたが、当時は市の経済状況が悪化しており、官レベルから民間レベルでの交流に移行していました。

宝鶏市麟游県竹林村は宝鶏市から車で3時間もかかる場所で、

なかなか行政の支援が行き届かないところでした。

このプログラムでは図書室・実験室・教室・トイレの改修、そして机と椅子が提供でき、また会員が持ち寄ったノートや鉛筆などの文房具も生徒たちに提供することができました。

私たちのクラブ一行は贈呈式のために現地入りし、生徒や教職員、多くの村民からラッパの演奏や爆竹で盛大な歓迎を受けました。式典では校舎改修費等の事業費用を校長に直接手渡しました。

遠い遠い日本の町からのプレゼント。文具を手渡した時の生徒たちのはにかんだ顔がとても印象的でした。

そして希望小学校と名付けられた校舎で熱心に勉強している様子を見て、慈愛の種を届けることができた実感を得たものです。



ロータリー 縁をつないで19年



2017-18年度
地区ローターアクト委員長

宮本 研二 (京都西RC)

父親、その一年後に四つ上の長兄が亡くなり、兄のあと次男坊の私が会社を継いで暫くした頃、「無理強いはいらないから、ジックリ考えて返事を下さい。」と京都西ロータリークラブからお誘いを受けた。

入会を決めた理由はハッキリしている。他人の飯を食った経験のない私にとって、知らない世界の異業種の経営者の方と交流をしたい。思い返すと創業者の父親、兄を続けてなくて心細かったのかもしれない。

RCに入会して、すんなりと生活の一部として居場所が見つかったわけではないが、ロータリー活動の基本「例会」に休まずに出席することを心に決めた。

自クラブの会員の方々や地区委員会のお役をさせていただいているお蔭で、地区内の様々なクラブの方々との親しい付き合いは、私にとって素晴らしい財産になっている。

ロータリーの大きな目的の一つに青少年を育てるとりわけローターアクターと接する機会に恵まれている現在の委員会活動は私のロータリーライフにフレッシュな躍動感を与えてくれています。

時に家内から「私とロータリーとどっちが大切な？」との声を背に受けて「もちろんワイフ・ファースト」と言いつつ、今日も悩ましい心境だ。



ロータリーでの出会いは財産



2017-18年度
地区青少年交換委員長

柴田 正明 (長浜RC)

1995年(平成7年)2月に入会し23年がたとうとしています。クラブ幹事の大役を仰せつかった2010-11年度は、クラブ創立65周年の節目の年で記念例会・姉妹クラブ台湾東門クラブ訪問等、諸先輩

のご指導を得て本当に貴重な経験をさせて頂きました。

幹事を終えた翌年から地区青少年交換委員会に出向させて頂き7年がたち、クラブでは味わうことの出来ない経験や多くの出会いがありました。

特に当委員会では、委員会メンバーとの出会いはもちろん、日本から

世界へ旅立とうとする高校生、海外から日本文化に興味を持ち来日する青年達との素晴らしい出会いは、7年間で100名を超えるこの委員会ならではの宝物になっています。

8月関西空港で、1年間研修したまだ初々しい派遣学生を見送り、そして来日学生を迎え1年間日本での生活を貴重なものするために、研修会・パーティ・年2回の宿泊エクスカーション、富士山頂にも登りました。広島・安芸の宮島厳島神社(7年連続正式参拝をさせて頂きました)・沖縄・東京・横浜等へ青年達と出かけることもできました。

多くの感動と喜びがあり、しかし若者相手のプログラム、トラブルも発生。全てが私の宝物で誇りです。

地区委員会の7年間は、私にとってロータリーへの「愛着と誇り」に変わっています。是非多くのロータリアンがこの素晴らしい体験を楽しんで頂ければと思いますし、今しばらく楽しませてください。



クラブ事業報告

京都南RC 二条城 大政奉還150周年記念植樹事業 植樹式



京都南ロータリークラブ
第1奉仕プロジェクト委員会
環境保全委員長

山本 尚樹

京都南RCの奉仕プロジェクトは6つの委員会構成されています。私はロータリー活動の中で社会へ向けた奉仕活動が最も花形だと感じています。

その実行委員長を国際奉仕、社会奉仕、環境保全と三期に渡りご指名頂いたことをとても光栄に思っています。

昨年度、意義ある業績賞を受賞した社会奉仕委員会『バリアフリーダイビング支援事業』で私は多くの事を学びました。その経験をもとに今年度環境保全委員会の単年事業として企画を進めて参りました。

今年は大政奉還150周年の節目の年にあたります。その舞台であ



る世界遺産・二条城には古木が多く近年枯れる木が多くなっています。この歴史都市京都の重要な観光資源の保全を目的に二条城内に新しい桜の木2本を植樹し、その桜を両側に見る「桜のトンネル」通路に訪れた観光客が休憩し寛ぐことができる御影石製ベンチ5基を寄贈設置しました。

去る12月4日には、門川大作京都市長をはじめ京都市役職の方々をお招きし、会員34名が参加しNHKと京都新聞の記者も来られて盛大に植樹式を開催致しました。

当日の様子はNHKのテレビ番組内で何度か放送され、翌日の京都新聞朝刊にも掲載され、ロータリークラブの奉仕活動がマスコミに大きくクローズアップされたことも併せてご報告致します。

今後も京都南RCは社会へ向けた奉仕活動を積極的に行い地域へアピールして参ります。



福井水仙RC杯「藤と桜の里」小学生バレーボール大会 開催



福井水仙ロータリークラブ
幹事

丹羽 澄男

当ロータリークラブは設立以来、一貫して青少年のスポーツ支援と障がい者の支援活動を行っています。そして、今年から新たに県内少年少女スポーツクラブが集う「藤と桜の里」小学生バレーボール大会を主催することになり、2017年12月9・10日の両日試合が行われ、32チーム、約400人が参加し、西藤島ジュニアバレーボール男子が優勝しました。

この大会の特徴は男子チームと女子チームが混ざり合って試合を行う珍しい大会です。特に男子は小学6年生の夏休みからの成長が著しいものがあるため、小学5年生以下の選手は、男子と女子の体格・体力にあまり差もなく、男女が僅差で戦えます。



これまで毎年、女子チームが優勝していましたが、今回の男子優勝は久々でした。試合中選手たちは、チームメイトと声を掛け合いながらボールをつないで



得点を狙い、力強いスパイクやサーブで得点を入れるなど練習の成果を発揮していました。小学生のプレイは大人顔負けの強力スパイクやサーブを繰り出し、見ごたえのある試合が繰り広げられました。バレーボールを通して、参加児童の健全育成と親睦交流を図ることが目的で福井水仙ロータリークラブは今後も全力で子供たちの支援活動を行っていききたいと思っています。

福井水仙ロータリークラブの名前は福井県花である「水仙」から命名されました。会員数は23人と少人数ですが

- 福井水仙ロータリークラブ主催 学童軟式野球新人大会(炎のリーグ)の開催
- 福井ジュニア弦楽アンサンブル「アウトリーチ・コンサート」支援
- 知的障がい者でつくるスペシャルオリンピックス日本・福井のアスリートの支援を行っています。



奈良東RC・八日市南RC共同 ラオス住血吸虫根絶事業実施報告



2017-18年度
地区国際奉仕委員長

浦島 陸

(奈良東RC)

今年度地区委員会推奨事業の一つで、新事業となるラオス住血吸虫根絶事業を、WHO、ラオス保健省、ラオス教育省の協力の下、11月12日～16日に奈良東RCと八日市南RC2クラブでの共同事業として総勢21名の地区内ロータリアンが参加し実施致しました。

現在、ラオス・カンボジアの国境をまたぐメコン川流域の約250村には下痢や血便、肝硬変や肝癌を引き起こす住血吸虫という寄生虫が生息しています。住血吸虫の卵は、トイレのない村の感染者がトイレを使用せず川岸で用便することにより、糞便とともに淡水域(河や湖)



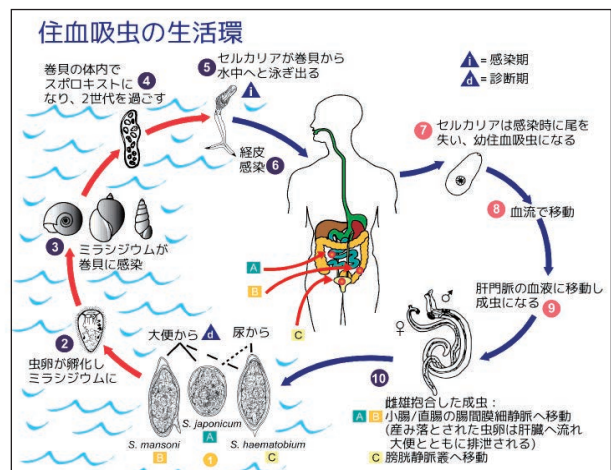
に排出され、そこで淡水巻貝に寄生し中間宿主として感染形に発達します。村民が泳いだり、洗濯をしたり、体を洗うなどした時に巻貝の口先から排出された住血吸虫の幼虫が、人の皮膚に付着し人体に侵入して次々と第三者に感染させています。多くの村民が漁師であり、川と生活の営みを切り離すことは不可能に近く、全村民がトイレ



を使用しない限りその感染は永久に繰り返されます。そこで今回我々はこの住血吸虫の感染を食い止めるべく、村民への糞便検査を行い、感染者には駆虫薬を投与、そして用便時は川ではなく、トイレを使用する必要があるという啓蒙活動を実施し、感染に苦しむ村民の環境衛生の知識向上に取り組みました。

また、併せてラオスのバクサー小学校への教育支援(文具等の寄贈)を行い、薬を飲むのを嫌がって泣いていた子供達も、すっかり笑顔になるような触れ合いができました。

地区委員会と致しましてはポストポリオとして今年度よりこの事業を根絶まで継続して行く所存でございます。どうぞ新たな地区委員会推奨事業にご理解いただき、これからもお力添えいただきますようお願い申し上げます。



彦根南RC提唱 彦根総合高等学校インターアクトクラブ設立



彦根南ロータリークラブ
会長

高木 淳一

彦根市の松風学園彦根総合高等学校に彦根南ロータリークラブ提唱で「インターアクトクラブ」を結成し、同学校で12月2日(土)に創立総会を開催しました。

県内では光泉高校(草津市)、ヴォーリス学園(近江八幡市)に次いで3校目となります。



インターアクトクラブの活動趣旨に則り、彦根南ロータリークラブが学校側に創設を呼びかけ実現しました。

インターアクトクラブは、藤田さら(2年)さんを会長に、生徒会役員、吹奏楽部員・運動部員ら37人が会員となり、今後ロータリークラブの支援を受けながら地域社会への貢献活動に取り組んでいきます。

クラブ事業報告

大津中央RC スマホDEハント 一行方不明者の捜索実証実験



大津中央ロータリークラブ
広報副委員長

浜本 博志

警察庁が、認知症が原因と思われる行方不明者の統計を開始した2012年から、毎年その人数は増え続けており(2012年は9,607人、2016年は15,432人)、この5年間で1.6倍に達しました。世界的に見ても稀有である「高齢化社会：日本」を象徴しているともいえます。私たちが暮らす街でも認知症等による徘徊事例はあとを絶ちません。

そんなこともあって、大津中央ロータリークラブでは、昨年から『安心安全な街づくり』の取り組みを始めました。昨年は、認知症等の徘徊高齢者に対象を絞って『徘徊高齢者の捜索実証実験』を実施しました。これは、ビーコンという発信機と、これを検知するためのアプリをインストールした市民のスマホを活用して、行方不明者を探し出すというシステムの実験です。地元自治体や警察機関などからも参加して



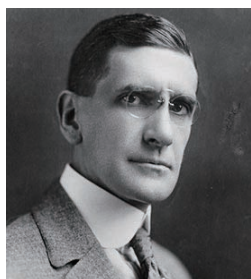
いただき、その有効性を実感できる成果をあげました。

そして今年度は、11月25日に、捜索対象を高齢者だけではなく、子供にも広げて、実証実験事業を実施しました。同日にステージイベントやマルシェも開催し、高齢者のいるご家族だけではなく、子供をもつ親や、地域住民の方々にも多く参加してもらいました。参加者からは「このようなシステムが広く世間に認知されれば、本当に安心な街になると実感した」という声も聞かれました。今後もこういった活動を続けていきたいと考えています。また地元のマスコミからも多く取り上げていただき、結果としてロータリーのPRにも繋がりました。

日本のロータリーでは今後、従来の活動に加えて、これから迎える『超高齢化社会』への備えが必要であるだけでなく、希薄になりつつある「地域コミュニティ」の再構築につながる活動にも、世界に率先して貢献する時がきているのではないかと考えています。



心を動かす
国際ロータリー
歴代会長
語 ころく 録



国際ロータリー
1919-20年度会長
アルバート S. アダムス

「友情...誰もが切望するもの。それは、ロータリーを存在させることになった理由であり、ロータリーを常に世界の活力とさせ続ける源であり、われわれの組織の土台となるものです。」

出典・参照「国際ロータリー会長の100の名言集」

今さら聞けない?
ロータリー
豆知識
まめちしき

四つのテストは会社従業員のための倫理指針?

四つのテストは、倒産寸前の会社再建のために、作成された倫理指針でした。すなわち、1932年、シカゴロータリークラブの会員であったハーバードJ.テイラーが、倒産寸前の調理器具メーカー再建のため、4つのテストを作成し、同会社の倫理指針としました。その結果、同会社の社会的評価が高まり、同会社は再建を果たしました。

その後、国際ロータリーの職業奉仕プログラムとして、四つのテストが採択され、ロータリアンの行動指針となりました。



11月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
びわ湖八幡	重田 将利	建設業
びわ湖八幡	上野 昌志	化学品製造販売
びわ湖八幡	中村 武	電子機器製造
栗東	足立 康司	運転代行業
栗東	竹本 信一	清掃資器材レンタル業
栗東	猪飼 英男	土木建設
守山	木村 茂子	環境衛生
大津中央	隠岐 豊和	商業銀行
長浜北	平井 正公	情報処理
八日市南	堤 祐子	不動産管理・売買
福知山西南	平井 利彦	新聞発行
亀岡	中西 雅敬	不動産業
亀岡中央	河原 英正	社会保険労務士

クラブ名	氏名	職業分類
京都	小畑 英明	蓄電器製造
京都	北川 公彦	百貨店
京都モーニング	杉山三千穂	電気工事
京都モーニング	蔵立 祥晴	建築施工
京都西南	戸塚 晴彦	コーヒー製造
京都中	濃野 公達	繊維製品染色整理
京都南	黒田 芳秀	ショッピングモール
京都南	池田 正治	食肉卸売
京都南	塚本 敏	鉄道輸送
京都八幡	奥村 浩文	総合法務アドバイザー
京都北	上田 博唯	情報科学
京都洛北	柳原 義之	建築設計
奈良	八幡 満久	自動車小売

クラブ名	氏名	職業分類
大和高田	増田 正芳	装身具製造・販売
大和高田	辰巳 貴昭	運輸業
日本ロータリー ヒクラフ2650	岡本三千代	作曲家

11月退会者一覧

クラブ名	氏名
大津中央	小林 浩介

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
福井北	荒木 一寿
京都紫野	徳永 光昭
京都乙訓	内藤 雅夫
奈良西	東山 光師 (名誉会員)

文庫通信 (364号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎ 「国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう!ロータリーとは、奉仕とは、人生とは (講演及び会員との質疑応答)」 田中作次 2017 11p (D.2570 地区大会報告書)
- ◎ 「地球温暖化防止の切り札は?」 牛山 泉 2017 17p (D.2550 地区大会の記念誌)
- ◎ 「世界を照らすLED」 天野 浩 2017 9p (第45回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「四国で一羽の蝶々がはばたくと、世界でハリケーンが生じる~情熱と意志を持って」 北川正恭 2017 10p (D.2670 地区大会記録)
- ◎ 「安全保障と危機管理」 越野修三 2017 10p (D.2830RYLA 報告書)
- ◎ 「日露首脳会談と政局の行方」 岸井成格 2017 19p (D.2660 地区大会報告書)
- ◎ 「母子の健康」 対馬ルリ子 2017 6p (D.2830 地区大会記録誌)
- ◎ 「福井県の恐竜時代」 東 洋一 2017 4p (D.2650 地区大会記念誌)
- ◎ 「山形大学のナスカの地上絵研究」 山形大学研究チーム 2014 5p (D.2800 地区大会講演集)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



国際ロータリー第2650地区
ホームページの紹介

第2650地区のホームページ

<http://www.rid2650.gr.jp>

第2650地区のホームページでは、各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報告、様々なメッセージ等を掲載いたします。ぜひご覧になってください。

「ガバナー月信」に
投稿しませんか?

各クラブ様で実施されました奉仕事業の報告記事をお寄せください。メールにて原稿を添付いただき、400字以内、写真2枚程度でお願いいたします。誌面の都合により投稿された全ての記事を掲載できない場合がございますので予めご了承ください。投稿先メールアドレス gov2017-18@rid2650.gr.jp

Rotary
District 2650



Kyoto 国際ロータリー第2650地区

Nara 2017-18年度ガバナー 田中 誠二

Shiga ガバナー事務所●

Fukui 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL:075-343-2650 FAX:075-343-2651 E-mail:gov2017-18@rid2650.gr.jp